

平成26年度事業計画

【公益目的事業】

| | | |
|----|---|---|
| 公1 | 市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいつくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業 | 収益 233,376,000円 |
| | | 費用 239,280,000円 人件費 128,682,000円 物件費 110,598,000円 |

| 番号 | 事業名 | 実施時期 | 会場 | 事業形態 | |
|------|-----|------|----|------|----|
| | | | | 収益 | 費用 |
| 事業内容 | | | | | |

(単位；円、費用；物件費)

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施する。また、学習機会の提供を通じて、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいつくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供する。

| ⑦ 意識啓発講演会 | 年2回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
|--|-----|----------|-----------|-----------|
| | | | 1,000,000 | 2,420,000 |
| <p>生きがい・健康づくりにつながる最新の活動や話題を取り上げた講演会またはシンポジウムを開催し、市民の関心を掘り起こす。</p> <p>① 電脳七夕（共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 内容：仙台七夕の開催時期に合わせ、ICT（情報通信技術）を活用した情報の受発信を行うことで新たな社会参加のあり方を示す。 ◆ 回数等：主に市民250人×年1回 <p>② 啓発講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 内容：「国連防災世界会議」の開催時期に合わせ、「(仮称) 高齢者と防災」をテーマにシンポジウムを開催するとともに、関係機関・団体等の発表・展示を行う。 ◆ 回数等：主に市民250人×年1回 | | | | |
| ⑧ 学習機会の提供 | | | | |
| (1) せんだい豊齢学園公開講座 | 年6回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 180,000 | ※ |
| <p>市民に「豊齢化社会づくり」への理解を促すとともに、豊齢学園の一端を紹介するため、学習内容を公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 対象：概ね50歳以上の市民 ◆ 回数等：100人×2回、40人×4回 | | | | |
| (2) せんだい豊齢学園短期集中コース | 年2期 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 150,000 | ※ |
| <p>2年制コースで開発した個々のテーマにより専門性を持たせ、通年の学習機会に参加が難しい市民を対象に学習機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 対象：概ね50歳以上の市民 ◆ 回数等：50人×年2期（1期3回コース） | | | | |

| | | | | | |
|---|--------------------------|-----|----------|--------|---------|
| (3) | せんだい豊齢学園夏期特別講座 | 年1回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | | 50,000 | ※ |
| <p>豊齢学園の夏休み期間を利用して、子どもから高齢者まで世代間交流のできるテーマについて考える機会を提供し、心豊かな生き方の創造に資する講座を開催する。</p> <p>◆対象：主に市民100人</p> | | | | | |
| (4) | 大人の未来学校 (旧ミドルライフセミナー) | 年5回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | | 85,000 | 246,000 |
| <p>生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持てるよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催する。</p> <p>①誌上講座 「げんき倶楽部杜人」において、誌上講座を企画する。</p> <p>②実践講座 ◆対象：概ね30歳代～50歳代の市民 ◆回数等：30人×4回、50人×1回</p> | | | | | |

※「2㉞せんだい豊齢学園事業」との共通経費

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいづくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成する。

| | | | | |
|---|-------|----------|-----------|-----------|
| ㉞ せんだい豊齢学園事業 | 5月～2月 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 5,085,000 | 6,450,000 |
| <p>市民に積極的な社会参加・貢献活動に資する学習機会と相互交流の場を提供する。年間を通して体系的な学習を行うことで、健やかに生きがいを創造しつつ、生涯にわたって自立できる高齢者づくりを推進するとともに、安心して暮らすことができる地域社会づくりを担う人材の養成を図る。</p> <p>◆開設コース：総合生活コース、ふるさと文化コース ◆対象：概ね50歳以上の通学可能な市民 各コース70人×2学年 ◆学習期間：2年間（週1回3時間×年間30日＝年間90時間）</p> | | | | |
| ㉟ シニア学び合い講座 | 通年 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 1,090,000 | 1,530,000 |
| <p>高齢者がさまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承することで、さらに多くの高齢者の社会参加を啓発・支援するとともに、ICT（情報通信技術）を活用した新しい形での社会参加・交流を提案していくためのコンソーシアムを立ち上げ、モデル事業を実施する。</p> <p>◆対象：シニア世代の市民、一般市民 ◆内容等：①高齢者の知識や技能を活用した講座 20人×年3回 ②ICTを活用したモデル事業 延べ260人 ③高齢者と学生の世代間交流事業 延べ200人 ④スマートスクール（高齢者向けスマホ教室） 20人×2クラス×2期+10人×2期</p> | | | | |

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループを支援するとともに、地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援する。

| | | | | |
|--|----|----------|------|-----------|
| ㊱ せんだい豊齢ネットワーク支援 | 通年 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 0 | 1,667,000 |
| <p>個々に活動してきたシニア活動グループの交流と連携を図るために組織された「せんだい豊齢ネットワーク」（豊齢ネット）の円滑な運営とより活発な活動展開を支援し、幅広く社会貢献活動を推進する。</p> <p>◆対象：豊齢ネット加入グループ32団体</p> | | | | |

| | | | | |
|---|----|----------|--------|--------|
| ◆支援内容：事務局運営支援（シルバーセンター内に開設する交流サロンの運営支援） 加入グループ間交流支援（代表者会議、推進会議、交流会等の開催支援） 加入グループ活動活性化支援（活動機会の提供、活動の提案やサポート） 豊齡ネット全体活動実施支援（加入グループ全体で企画・運営する各種活動のサポート） 広報支援（ホームページの開設運営支援） | | | | |
| ① 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務 | 通年 | シルバーセンター | 受託事業 | |
| | | | 55,000 | 55,000 |
| 主に介護保険の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者を対象に、生活指導や昼食提供等を行っているボランティア団体等の事業助成において、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会を開催する。 ◆対象：仙台市より助成金交付決定を受けたボランティア団体（25年度実績：14団体） ◆内容： ①助成金交付説明・受付・審査（ボランティア団体からの助成金交付申請に係る書類等の説明・受付・審査） ②現地調査（助成金交付ボランティア団体の活動状況確認のための訪問調査） ③研修会等の開催（助成金交付ボランティア団体の活動支援を目的とした研修会・意見交換会の開催） | | | | |

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じる。

| | | | | |
|--|----|----------|--------|---|
| ⑦ 高齢者に関する一般相談・ 専門相談 | 通年 | シルバーセンター | 指定管理事業 | |
| | | | ※ | ※ |
| ①高齢者に関する一般相談 ◆内容：高齢者やその家族が抱える生活全般に関する問題 ◆相談日：休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、面接 ②専門相談 ◆内容：税務、法律、年金 ◆相談日：月1回～4回程度 ◆相談方法：面接 | | | | |

※「8 仙台市シルバーセンター管理運営事業」との共通予算

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供する。

| | | | | |
|--|--------------|----------|-----------|-----------|
| ⑦ シルバー創作展 | 年1回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 125,000 | 1,297,000 |
| 高齢者に芸術創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として作品展を開催する。 ◆対象：市内在住の60歳以上のアマチュアの方 ◆部門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸の6部門及び介護事業所等の共同作品 ◆期間：6日間 | | | | |
| ① 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務 | 10月 4日～7日 | 栃木県（開催地） | 受託事業 | |
| | | | 6,874,000 | 6,874,000 |
| 高齢者の生きがいが創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省・長寿社会開発センター、開催自治体が主催する全国健康福祉祭に仙台市選手団を派遣する。 ◆派遣種目・人数：20種目、選手172人・役員9人 | | | | |

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機を提供する。

| | | | | |
|---|------------|--------|-----------|-----------------|
| ⑦ 仙台市高齢者生きがい健康祭 仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により、健康づくりや社会参加の機会を提供し、活力ある高齢社会の実現を目的とするイベントを開催する。 | | | | |
| (1) | 市民広場交流事業 | 10月4日 | 勾当台公園市民広場 | 自主事業（共催事業） |
| | | | | ※ ※ |
| 高齢者支援団体等によるテントブース出展と歌や踊りを通じて健康づくり等を行っている団体等によるステージ発表のイベントを開催する。 ◆出展団体：25団体 ◆発表団体：10団体 | | | | |
| (2) | 競技種目交流大会 | 9月～11月 | 仙台市内体育館等 | 自主事業（共催事業） |
| | | | | ※ ※ |
| 概ね50歳以上の方やチームを対象に、さまざまな競技種目による交流大会を開催する。 ◆対象：概ね50歳以上の方やチーム ◆開催種目：卓球等18種目 | | | | |
| ⑧ | 介護予防月間実施業務 | 11月 | シルバーセンター等 | 受託事業 |
| | | | | 363,000 363,000 |
| 仙台市では、11月を介護予防月間と定め、身近な地域で取り組む介護予防の普及啓発を目的に、全学的キャンペーンを展開している。介護予防月間の企画・運営に携わる各関係団体による「関係団体会議」を開催し、事務局業務を担う。また、広く一般へ介護予防の普及啓発を行うためイベントを開催する。 ①事務局業務 ②介護予防普及啓発イベント開催 講演会、健康度測定・健康づくり相談、生きがいと健康づくり体験等 | | | | |

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催する。

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図る。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行う。

| | | | | | |
|--|---------------------------|------|------------------------|---------|---------|
| ⑦ | 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行 | 毎月1回 | 年間84万部 (7万部×12回) | 自主事業 | |
| | | | | 0 | 59,000 |
| 民間企業との共同により生きがい・健康づくりに関連するテーマを取り上げた情報誌を発行し、広く市民に情報の発信を行う。 ◆仕様：A4判・16ページ・フルカラー ◆配布先：市民センター、老人福祉センター、医療機関等 | | | | | |
| ⑧ | シルバーセンターだより 「あばいん」の発行 | 毎月1回 | 年間4万2千部 (3千5百部×12回) | 指定管理事業 | |
| | | | | 700,000 | 700,000 |
| 広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行する。 ◆仕様：A3判二つ折り・両面 ◆配布先：市内の公共施設等 | | | | | |

8 仙台市シルバーセンターの管理運営事業

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行う。

| | | | | |
|--|----|----------|------------|------------|
| ⑦ 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理 | 通年 | シルバーセンター | 指定管理事業 | |
| | | | 88,937,000 | 88,937,000 |
| ①研修室等の貸出 福祉団体等へ活動・発表の場を提供することを目的に、研修室等の貸出を行う。 ②温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 ③センターの維持管理業務 市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理する。 | | | | |

| | | |
|----|---|---|
| 公2 | 市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業 | 収益 209,177,000円 費用 212,449,000円 人件費 124,178,000円 物件費 88,271,000円 |
|----|---|---|

| 番号 | 事業名 | 実施時期 | 会場 | 事業形態 | |
|------|-----|------|----|------|----|
| | | | | 収益 | 費用 |
| 事業内容 | | | | | |

(単位；円、費用；物件費)

1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催する。

| | | | | | |
|---|-----------|-----|----------|---------|---------|
| ⑦ 生活習慣病予防・改善講座 | | | | | |
| (1) | 栄養講座 | 年4期 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | | 42,000 | 42,000 |
| 生活習慣病予防を目的とし、栄養バランスの整え方や減塩方法等、それぞれの生活環境にあう食事の取り方、自炊方法を伝え、食生活について啓発を行う。 ◆内 容：栄養講話、調理実習 ◆対 象：市民（一般、高齢者、障害者及びその家族等） ◆回数等：15人×年4期（1期2回コース） | | | | | |
| (2) | 生活習慣病予防教室 | 年5期 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | | 132,000 | 132,000 |
| 運動器の障害・機能低下、高血圧を予防することを目的に、運動の知識・方法を伝え、日常生活において実施するためのきっかけをつくる。 ①ロコモティブシンドローム予防教室 ◆内 容：ロコモティブシンドローム予防についての理解等 ◆対 象：18歳以上の運動可能な市民 ◆回数等：25人×年4期（1期3回コース） ②高血圧予防教室 ◆内 容：講話、ヘルスチェック、運動実技 ◆対 象：18歳以上の運動可能な市民 ◆回数等：20人×年1期（1期3回コース） | | | | | |

| ① 障害者健康づくり教室 | 通年 | 地下鉄沿線施設等 | 指定管理事業 | |
|--|----|----------|-----------|------------|
| | | | 984,000 | 984,000 |
| <p>◆内 容：体力測定、運動実技、栄養・保健指導、個別支援等</p> <p>◆対 象：障害者、障害者団体・グループ、障害者施設職員等</p> <p>①地域拠点型教室・地域拠点型プレ教室</p> <p>◆対 象：個人</p> <p>◆回数等：15人×40回×3会場（仙台市体育館・シルバーセンター・健康増進センター） 10人×8回×1会場（若林区）</p> <p>②地域拠点型教室（夕暮れエクササイズ）</p> <p>◆対 象：若年者軽度知的障害者対象</p> <p>◆回数等：15人×40回×1会場（健康増進センター）</p> <p>③地域拠点型教室（団体・グループ）</p> <p>◆対 象：障害者団体・グループ</p> <p>◆回数等：年24回（月1回×2グループ）</p> <p>④施設支援型教室</p> <p>◆対 象：施設型 障害者及び施設職員 支援学校 生徒及び教職員</p> <p>◆回数等：施設型 22回×1会場（障害者、施設職員） 支援学校 18回×2会場（生徒、教職員）</p> | | | | |
| <p>⑦ 高齢者運動教室</p> <p>健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、虚弱高齢者等を対象に、高齢者運動教室を開催し、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続を支援する。</p> | | | | |
| (1) 高齢者運動教室 | 通年 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 8,324,000 | 10,084,000 |
| <p>①シニア元気あっぷ運動教室</p> <p>◆対 象：満60歳以上の市民</p> <p>◆回数等：((33人×9クラス) + (35人×1クラス)) ×4期（1期9回コース）</p> <p>②はつらつ運動教室</p> <p>◆対 象：満80歳以上の市民</p> <p>◆回数等：25人×4クラス×年1期（1期9回コース） 25人×4クラス×年2期（1期8回コース） 25人×4クラス×年1期（1期7回コース）</p> <p>③楽しく運動教室</p> <p>◆対 象：満65歳以上の体力に自信のない市民</p> <p>◆回数等：25人×1クラス×年4期（1期9回コース）</p> <p>④チャレンジ運動教室</p> <p>◆対 象：概ね55歳～64歳の市民</p> <p>◆回数等：集中講座 20人×1クラス×年1期（1期4回コース） 継続教室 20人×1クラス×19回</p> <p>⑤高齢者運動教室公開講座</p> <p>◆対 象：一般市民</p> <p>◆回数等：300人×1回</p> | | | | |
| (2) 高齢者運動教室 | 通年 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | 1,292,000 | 1,292,000 |
| <p>①高齢者運動（元気アップ）教室</p> <p>◆対 象：満60歳以上の市民</p> <p>◆回数等：25人×3クラス×年4期（1期8回コース）</p> <p>②シニアステップアップ運動教室</p> <p>◆対 象：概ね60歳以上の元気な市民</p> <p>◆回数等：25人×2クラス×年40回</p> | | | | |

③楽しく運動教室

- ◆対象：満65歳以上の体力に自信のない高齢者または満80歳以上の高齢者
- ◆回数等：20人×1クラス×年4期（1期8回コース）

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力の習得、支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催する。

| ⑦ 障害者運動サポーター養成研修会 | 通年 | 健康増進センター等 | 指定管理事業 | |
|--|-----|-----------|---------|---------|
| | | | 273,000 | 273,000 |
| 障害者の健康づくりを支援する運動サポーターの養成研修会を開催する。 ◆内容：障害の理解、栄養・健康講話、運動実技、支援方法等 ◆対象：健康づくり運動サポーター、障害者スポーツ指導員等 ◆回数等：15人×3回コース×2講座 | | | | |
| ⑧ 健康づくり運動サポーター養成研修会 | 年3回 | 健康増進センター等 | 指定管理事業 | |
| | | | ※1 | ※1 |
| 高齢者や障害者の健康づくりと介護予防活動を推進及び支援する運動サポーターの研修を行う。 ◆内容：救急蘇生法、体力測定、運動実技、栄養・健康講話等 ◆対象：ウエルネスホープ ◆回数等：75人×年3回 | | | | |
| ⑨ 指導者研修会 | 年2回 | 健康増進センター等 | 指定管理事業 | |
| | | | ※1 | ※1 |
| 地域や施設等で健康づくりや介護予防の指導に必要な知識・技術の向上を目的とした研修会を開催する。 ◆内容：講演会、研修会、活動の啓発と交流、情報提供等 ◆対象：障害者施設職員、地域の関係機関職員、運動指導員等 ◆回数等：40人×年2回 | | | | |
| ⑩ 介護予防支援者研修会 | 年2回 | 市民センター等 | 自主事業 | |
| | | | 50,000 | ※2 |
| 地域で介護予防の支援を行っている方を対象に、介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催する。 ◆内容：講話、運動実技、援助法等 ◆対象：町内会、老人クラブ等で介護予防の支援を行っている方 ◆回数等：50人×年2回 | | | | |
| ⑪ 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会) | 通年 | シルバーセンター等 | 受託事業 | |
| | | | 503,000 | 503,000 |
| 高齢者の健康づくりと介護予防のため、自主的な運動実践を支援するサポーターを養成するための研修会を開催する。 また、サポーター活動を支援するとともに、サポーターのスキルアップ研修を行い資質の向上を図る。 ◆対象：サポーター活動に意欲のある市民、介護予防運動サポーター（活動者）1,102人 ◆回数等： <ul style="list-style-type: none"> ①追加サポーター養成研修（5区+2支所）×5回 ②新規サポーター養成研修（5区+2支所）×8回 ③スキルアップ研修会（5区+2支所）×6回 | | | | |

※1「⑦障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

※2「5⑩介護予防体操、運動道具の普及・販売」との共通経費

| |
|---|
| <p>②継続支援教室</p> <p>◆内 容：支援プラン作成者を対象とした保健・栄養指導、運動実技、ヘルスチェック等の継続支援</p> <p>◆回 数：年162日</p> |
|---|

※1「1①障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「5④介護予防体操、運動道具の普及・販売」との共通経費

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行う。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げる。

| | | | | |
|---|-------|--------|---------|---------|
| ⑦ はつらつシニア発表会 | 9月27日 | 仙台市体育館 | 自主事業 | |
| | | | 210,000 | 666,000 |
| <p>生きがい健康づくりの一環として地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対し、発表の場を提供する。また、世代間交流及び若い世代への介護予防の理解・啓発を目的として、若い世代へ参加発表の場を提供する。</p> <p>◆内 容：各種ダンス、スポーツ等の日頃の活動成果の発表</p> <p>◆対 象：仙台市内を活動拠点とする各種ダンスサークルや体操等の活動をしている概ね15人以上の趣旨に賛同する団体</p> | | | | |

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行う。

| | | | | | |
|---|---------------------------|------|------|---------|---------|
| ⑦ 調査・研究・開発、ネットワーク構築 | | | | | |
| (1) | 健康づくり応援事業 (生活習慣病予防・改善) | 通年 | — | 指定管理事業 | |
| | | | | 223,000 | 223,000 |
| <p>健康づくりに対する地域や職域等の意識や現状、地域資源等についての調査を実施し、健康課題や要望を把握し、地域での健康づくりを応援する。</p> <p>①健康づくり事業でのアプローチ</p> <p>②健康づくりに関する現状や課題、ニーズの調査</p> | | | | | |
| (2) | 調査・研究・開発 (生活習慣病予防・改善) | 通年 | — | 指定管理事業 | |
| | | | | 69,000 | 69,000 |
| <p>健康づくり支援プラン事業参加者等を対象に、参加後の健康づくりへの意識変容等についての調査を実施する。また、調査結果を基に健康リスクを抱えた方の重症化予防を目的とする生活改善プログラム、支援方法、ツールの開発等を行う。</p> <p>①健康づくり支援プラン参加者追跡調査</p> <p>②講座プログラム、ツール等の開発</p> | | | | | |
| (3) | 調査・研究・開発 (障害者の健康増進) | 通年 | — | 指定管理事業 | |
| | | | | 174,000 | 174,000 |
| <p>若林区内における社会資源や障害者施設等での健康づくりへの取組状況の調査を実施する。また、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等を行う。</p> <p>①障害者健康づくり調査（社会資源・意識）</p> <p>②障害者健康づくり援助法の研究と開発</p> <p>③障害者運動プログラム・測定評価・ツールの研究と開発</p> <p>④障害者健康づくり支援システムの検討</p> | | | | | |
| (4) | ネットワーク構築 (障害者の健康増進) | 年85回 | 区役所等 | 指定管理事業 | |
| | | | | 51,000 | 51,000 |
| <p>障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し情報交換や連携を進める。</p> <p>◆内 容：各種ネットワーク会議への参加、情報収集と提供、ネットワーク構築</p> | | | | | |

| ㊦ 地域展開・出前講座 | | | | | | |
|---|----------------------|-------|----------|--|-----------|--|
| (1) | 出前講座 (生活習慣病予防・改善) | 年約30回 | 仙台市内 | 指定管理事業 | | |
| | | | | 105,000 | 105,000 | |
| 健康づくりの啓発・支援、栄養バランスについての知識の普及等を目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：健康づくりのための講話や実習 ◆対 象：市民及び職域 | | | | | | |
| (2) | 障害者団体出前講座等 | 通年 | 仙台市内 | 指定管理事業 | | |
| | | | | ※1 | ※1 | |
| ①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：保健・栄養指導、体力測定、運動実技、ヘルスチェック等 ◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆回 数：年40回 ②三所連携事業（いず☆ちゅう健幸祭） 障害者総合支援センター・発達相談支援センターと連携したイベントを開催する。 ◆内 容：講演会、栄養講座、健康づくり教室の体験等 ◆対 象：主に市民（高齢者、障害者、施設職員等） ◆回 数：年1回 | | | | | | |
| (3) | 出前講座（高齢者の介護予防） | | | | 自主事業 | |
| | ①出前講座 | 年25回 | 仙台市内 | 0 | ※2 | |
| | | | | 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：講話、体力測定、運動実技等 ◆対 象：町内会、市民センター老壮大学等 | | |
| | ②市営住宅介護予防運動教室事業 | 通年 | 市営住宅集会所等 | 自主事業 | | |
| 622,000 | | | | 622,000 | | |
| 地域における新たな健康づくり・介護予防活動の創設を目的として、公営住宅の集会所等を活用した介護予防運動教室を開催する。 ◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等 ◆対 象：市営住宅住民 ◆回数等：20人×月2回×6ヶ月 | | | | | | |
| ㊧ | ふれあい広場でストレッチ | 年12回 | 仙台市内 | 自主事業 | | |
| | | | | 0 | 0 | |
| 介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催する。 ◆内 容：運動実技 ◆対 象：市民 | | | | | | |
| ㊨ 被災者向け介護予防運動教室事業 | | | | | | |
| (1) | 被災者向け介護予防運動教室事業 | 通年 | 仙台市内 | 受託事業 | | |
| | | | | 1,087,000 | 1,087,000 | |
| 東日本大震災による被災地域において、高齢者の健康づくりや介護予防を目的とし、運動をはじめとした支援（生活・栄養・口腔）を地域に出向いて実施する。また、区や関係機関と連携し、課題や情報の共有、地域のサポーターやボランティア活動の支援を行う。 ◆内 容：講話、運動実技等 ◆対 象：東日本大震災被災者及び被災地域に居住する満60歳以上の市民 ◆回数等：20人×月2回×5区 | | | | | | |

| | | | | | |
|---|----------------------|----|----------------|---------|-----------|
| (2) | 復興公営住宅 介護予防運動教室事業 | 通年 | 復興公営住宅 集会場等 | 自主事業 | |
| | | | | 0 | 622,000 |
| 地域における新たな健康づくり・介護予防活動の創設を目的として、復興公営住宅の集会場等を活用した介護予防運動教室を開催する。 ◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等 ◆対 象：復興公営住宅住民 ◆回数等：20人×月2回×6ヶ月 | | | | | |
| ㊦ | 介護予防体操、運動道具の普及・販売 | 通年 | — | 自主事業 | |
| | | | | 738,000 | 1,222,000 |
| ①介護予防体操の普及 音楽に合わせて安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」の普及を行う。 ②運動道具の取次販売 運動自主グループへ運動道具の取次販売を行い、介護予防の実践活動を支援する。 | | | | | |

※1 「1㊦障害者健康づくり教室」との共通予算

※2 「㊦介護予防体操、運動道具の普及・販売」との共通経費

6 仙台市健康増進センターの管理運営

| | | | | |
|----------------------------------|----|----------|------------|------------|
| ㊧ センターの維持管理 | 通年 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | 64,373,000 | 64,373,000 |
| 市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理する。 | | | | |

| | |
|----------------------------------|--|
| 公3 高齢者等の介護に関する研修及び、相談及び情報提供を行う事業 | 収益 47,752,000円 費用 47,940,000円 人件費 30,977,000円 物件費 16,963,000円 |
|----------------------------------|--|

| 番号 | 事業名 | 実施時期 | 会場 | 事業形態 | |
|------|-----|------|----|------|----|
| | | | | 収益 | 費用 |
| 事業内容 | | | | | |

(単位；円、費用；物件費)

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催する。

| | | | | |
|---|----|----------|-----------|-----------|
| ㊨ 市民向け介護講座 | 通年 | シルバーセンター | 指定管理事業 | |
| | | | 9,087,000 | 9,087,000 |
| ①知って役立つ福祉用具講座 ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆回数等：15人×年4回 ②介護1日講座 ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆回数等：40人×年6回 ③介護ナイター講座 ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×年3回 | | | | |

| | |
|----------------------------|---|
| ④土曜介護講座 | ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：40人×年3回 |
| ⑤サラリーマン介護講座 | ◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：30人×年3回 |
| ⑥地域介護講座 | ◆内 容：市民センターと共同で開催する、介護の知識・技術を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：30人×3会場 |
| ⑦認知症を理解する | ◆内 容：認知症を理解し、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：60人×年4回 |
| ⑧テーマ別介護講座 | ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の知識・技術を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：60人×年5回、40人×年3回 |
| ⑨ターミナルケアを学ぶ | ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 |
| | ◆回数等：60人×年2回 |
| ⑩学校向け介護体験講座 | ◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張で講座を行う。(高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方) |
| | ◆回数等：随時 |
| ⑪福祉用具体験講座 | ◆内 容：10人以上の希望する団体を対象に、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ。 |
| | ◆回数等：随時 |
| ⑫「福祉用具の日」記念イベント・「介護の日」記念行事 | ◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念して、セミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示を行う。 |
| | ◆回 数：年2回 |

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の習得・向上、将来の介護職養成を目的とした研修を開催する。

| ㉞ 認知症介護研修 | 通年 | シルバーセンター | 受託事業 | |
|--|----|----------|-----------|-----------|
| | | | 5,832,000 | 5,832,000 |
| 介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の習得・向上を目的とした研修を開催する。 | | | | |
| ①認知症介護実践者研修 | | | | |
| 認知症高齢者の介護に必要な知識・技術を習得し、介護現場で実践的能力を発揮できる力を養う。 | | | | |
| ◆内 容：講義演習5日、外部実習1日、職場実習4週間、報告会1日 | | | | |
| ◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 | | | | |
| ◆回数等：60人×年4回 | | | | |
| ②認知症介護実践リーダー研修 | | | | |
| 介護現場の実践リーダーとして、チームケアを推進し、認知症介護の理念を介護現場で展開できる力を養う。 | | | | |
| ◆内 容：講義演習7日、外部実習4日、職場実習4週間、報告会1日 | | | | |
| ◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 | | | | |
| ◆回数等：36人×年1回 | | | | |

| | | | | |
|---|------|----------|-----------|-----------|
| <p>③認知症対応型サービス事業管理者研修 認知症の基本理念・基礎知識を習得した管理者として予定される者に、総括的に事業所を管理運営できる力を養う。 ◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者または管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：24人×年2回</p> <p>④キャラバン・メイト養成研修 認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成する。 ◆内 容：認知症の症状・予防、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等 ◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修等を修了した者 ◆回数等：30人×年1回</p> | | | | |
| ① 難病患者等ホームヘルパー養成研修 | 年1回 | シルバーセンター | 受託事業 | |
| | | | 150,000 | 150,000 |
| <p>難病患者等へのサービスの提供のために必要な知識や技術を習得し、ホームヘルパーを養成する。 ◆内 容：難病の症状やケアに関する医学知識、医療・保険・福祉制度、本人の心理、家族の理解 ◆対 象：難病患者等のホームヘルプ事業に従事している介護職員または今後従事予定の介護職員 ◆回数等：100人×1回</p> | | | | |
| ⑦ 介護職スキルアップ研修 | 年11回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 1,420,000 | 1,894,000 |
| <p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図る。 ◆内 容：介護技術実習、精神疾患の理解と対応、認知症の理解と対応、ターミナルケア等 ◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：40人×5回、70人×1回、80人×1回、90人×4回</p> | | | | |
| ⑤ 介護福祉士国家試験 事前実技試験講習会 | 年1回 | シルバーセンター | 自主事業 | |
| | | | 256,000 | ※ |
| <p>介護福祉士国家試験実技試験に必要な知識・技術を身につけ、介護福祉士の育成に資する。 ◆内 容：実技試験の模範実技、実習・解説等 ◆対 象：筆記試験を受験した方 ◆回数等：32人×2日×1回</p> | | | | |

※「⑦介護職スキルアップ研修」との共通経費

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行う。

| | | | | |
|--|----|----------|--------|---|
| ⑦ 介護に関する相談、情報提供 | 通年 | シルバーセンター | 指定管理事業 | |
| | | | ※ | ※ |
| <p>①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応する。 ◆相 談 日：シルバーセンター休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、来所</p> <p>②福祉用具の展示 ◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等約450点 ◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（認知症関連機器等）</p> <p>③図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・ビデオ・DVD（約1,300冊）の閲覧・貸出を行う。</p> | | | | |

※「1⑦市民向け介護講座」との共通予算

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行う。

| | | | | |
|---|----|---|--------|----|
| ㉞ 認知症サポーター養成講座 事務局運営 | 随時 | — | 受託事業 | |
| | | | ※1 | ※1 |
| 認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーターの養成を目的に、講座開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャンパシ・メイトの派遣や教材手配を行う。 | | | | |
| ㉟ 職域等向け介護研修 | 随時 | — | 自主事業 | |
| | | | 30,000 | ※2 |
| 介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画・開催する。 | | | | |

※1「2㉞認知症介護研修」との共通予算

※2「2㉟介護職スキルアップ研修」との共通経費

| | |
|--------------------------------|---|
| 公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業 | 収益 370,867,000円 費用 370,867,000円 人件費 308,685,000円 物件費 62,182,000円 |
|--------------------------------|---|

| 番号 | 事業名 | 実施時期 | 会場 | 事業形態 | |
|------|-----|------|----|------|----|
| | | | | 収益 | 費用 |
| 事業内容 | | | | | |

(単位；円、費用；物件費)

| | | | | |
|--|----|---|------------|------------|
| ㉞ 要介護認定訪問調査受託事業 | 通年 | — | 受託事業 | |
| | | | 60,453,000 | 60,453,000 |
| 仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査を行う。 ◆調査見込件数：41,234件 ①仙台市 40,754件 ・初回申請 13,200件 ・更新申請 24,104件 ・区分変更・再調査 3,450件 ②他市町村 480件 | | | | |
| ㉟ 障害支援区分認定訪問調査受託事業 | 通年 | — | 受託事業 | |
| | | | 1,729,000 | 1,729,000 |
| 仙台市から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行う。 ◆調査見込件数：1,913件 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----------|------------|------------|
| (2) 健康づくり講座 | 通年 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | 300,000 | 300,000 |
| <p>①メタボリックシンドローム予防教室 働き盛りの世代を中心に、生活習慣の見直し・改善に取り組み、メタボリックシンドローム予備軍の減少、適正体重者の増加を目指す。さらに、早い段階で生活改善を促し、将来の生活習慣病予防を図る。</p> <p>◆対 象：健康課題の多い働き盛りの世代を中心とする勤労者 ○メタボリックシンドローム改善講座 ◆内 容：身体計測、講話、栄養講座、運動実技、個別相談等 ◆回数等：20人×2コース×4回 ○新入社員の生活習慣病予防講座 ◆内 容：講話、ヘルスチェック、栄養講座、運動実技、個別相談等 ◆回数等：10人×2回</p> <p>②ヘルスアップセミナー 働き盛り世代では、生活習慣病につながる肥満者の増加や運動不足、喫煙習慣等が多く見られ、メタボリックシンドロームが増加する世代であるため、これからの元気な高齢者を増やすための支援を行う。</p> <p>○ヘルスアップセミナー、ヘルスアップセミナーフォローコース ◆内 容：講話、ヘルスチェック、栄養講座、運動実技、個別相談等 ◆回数等：20人×7回、10人×2回</p> | | | | |
| ④ 施設の利用提供、維持管理 | 通年 | 健康増進センター | 指定管理事業 | |
| | | | 22,615,000 | 22,615,000 |
| <p>①施設の利用提供 中学生以下を除く運動可能な市民を対象に、公益目的事業未使用時において、使用料を徴収して、健康づくりの場として施設の利用提供を行う。また、高齢者や障害者の施設利用時において、見守りや機器説明等の支援を行う施設利用サポーターを養成する。</p> <p>②公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務</p> | | | | |